

会議録

会議の名称	令和2年度第1回和泉市ごみ減量等推進審議会
開催日時	令和2年12月21日(月) 14時00分から15時15分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター1階大集会室
出席者	浜田委員、坂本委員、中野委員、吉弘委員、澤村委員、大塚委員、上田委員、橋本委員、辻林委員、村井委員、日原委員、岡室委員、飯坂委員、上阪委員、岡澤委員、越知委員、 (以上16名 順不同)
事務局	生活環境課
会議形態	公開 傍聴者2名
会議の議題	1.開会のあいさつ 2.委員の紹介 3.会長、副会長の選出 4.第5次和泉市一般廃棄物処理基本計画(案)の諮問 5.経過と今後のスケジュール 6.第5次和泉市一般廃棄物処理基本計画(案)について 7.パブリックコメント募集について
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている。 <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている。
【事務局】	審議会委員の紹介に移ります。委嘱状の交付につきましては、コロナ禍におきまして、過日、ご送付させていただいておりますのでご了承ください。任期は、令和2年9月22日から令和4年9月21日まででございます。 つぎに、委員のご紹介をさせていただきます。ご紹介は順不同になっております。お席、時計回りでのご紹介とさせていただきます。 (まず、1号委員の市議会議員から) 市議会議長の浜田千秋委員でございます。 市議会都市環境委員長の坂本健治委員でございます。 (次に2号委員の都市政策またはその学識経験者から) 甲南女子大学人間科学部生活環境課学科教授の中野加都子委員でございます。 桃山学院大学経済学部准教授の吉弘憲介委員でございます。 (続いて、3号委員の消費者及び住民団体の代表者から)

	<p>和泉市町会連合会副会長 澤村直幸委員でございます。</p> <p>和泉市老人クラブ連合会女性部長大塚繁子委員でございます。</p> <p>和泉市こども会育成連絡協議会会計上田佐和子委員でございます。</p> <p>(次に4号委員の事業者等を代表する者から)</p> <p>和泉商工会議所専務理事橋本隆次委員でございます。</p> <p>いずみの農業協同組合代表理事専務辻林修委員でございます。</p> <p>和泉市商店連合会副会長村井良之委員でございます。</p> <p>和泉市環境事業協同組合理事長日原力委員でございます。</p> <p>テクノステージ和泉まちづくり協議会会計岡室養子委員でございます。</p> <p>(次に5号委員の行政を代表する者から)</p> <p>泉北環境整備施設組合環境部長飯坂孝生委員でございます。</p> <p>(最後に6号委員の公募による市民の方々)</p> <p>上阪英次委員でございます。</p> <p>岡澤久子委員でございます。</p> <p>越知典子委員でございます。</p> <p>以上が委員の皆様でございます。</p> <p>それでは、続きまして、会長、副会長の選出に移ります。</p> <p>選出につきましては、委員皆様の互選により行うものとなっておりますことから、委員の皆様からご選出をお願いしたいと存じます。立候補又はご推薦はございませんでしょうか。</p>
【委員】	事務局一任。
【事務局】	<p>ただいま、事務局一任のお声をいただきましたので、大変僭越ではございますが、事務局(案)を提案させていただきます。</p> <p>会長には、これまで、兵庫県、大阪府、和歌山県の環境保全審議会委員や大阪市廃棄物減量等推進審議会委員など廃棄物に係る専門委員を数多く歴任され、本市廃棄物行政においても深い見識をお持ちの甲南女子大学中野加都子委員をお願いしてはいかがかと考えております。また、本市商工業の分野に広く知見を有し、事業者の皆さんの実状に精通されておられ、市民・事業者・行政の協働によるまちづくり推進に寄与されておられます和泉商工会議所専務理事の橋本隆次委員をお願いしてはいかがかと存じますが、委員の皆様、いかがでしょうか。</p>
【委員】	異議なし。

【事務局】	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局案をそれでは、会長は、中野委員に、副会長は、橋本委員にお願いしたいと存じますが、皆様の拍手をもってご承認をお願いしたいと存じます。</p>
【委員】	<p>～拍手～</p>
【事務局】	<p>ありがとうございます。</p> <p>会長・副会長に選出されました中野委員、橋本委員におかれましては、会長席・副会長席までご移動をお願いいたします。</p> <p>それでは、中野会長、橋本副会長一言よろしく願いいたします。</p>
【中野会長】	<p>皆様こんにちは。甲南女子大学の中野でございます。</p> <p>ただいま、皆様のご承認いただきまして、会長を勤めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>神戸からとお思いの方もいらっしゃると思うのですが、和泉市さんとのお付き合いは20年以上たぶん30年ぐらいに及ぶのではないかと思うんですけど。毎年のように通わせていただいております。円滑な会議運営を心がけて参りますので、委員皆さまのご協力をよろしく願いいたします。</p> <p>私は、大阪府循環型社会推進基本計画の新しい計画にも関連しているんですけども、先週も和歌山県環境審議会にも行っていたのですけれども、だいたい日本全体で今、最も話の焦点とされるのがプラスチックごみ問題と食品ロスのことです。</p> <p>そして、その背景にありますのは高齢化、IT化、アプリを利用したもの。そして、SDGs、国際化ですね。そしてコロナですね。この4つぐらいを考えながら、どうやって新しい計画を立てていくかということになってきます。</p> <p>大阪府でも新しい活動としてマイボトル運動を本気でやる計画を立てていらっしゃるようですし、高齢化につきましては、環境課だけではなく福祉課などサブ局とどうやって連携していくかってことを推進、期待しています。神戸市でも、プラスチックごみは何とかしないとイケないという事で、甲南女子大学と象印マホービン様、神戸市、この3者連携で本気でマイボトル運動を推進しているところなんです。</p> <p>ですので、是非和泉市の皆さんもこの食品ロス、プラスチックごみ問題という大きな課題に和泉市のオリジナルの計画をたててがんばっていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p>
【橋本副会長】	<p>皆さま、こんにちは。和泉商工会議所専務理事橋本でございます。微力では</p>

	<p>ございますが、地域の経済団体の代表といたしまして、皆様方と一緒に なつて、この和泉市で支援していきたいと思つますので、議事の運営につ きまして、皆様のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。</p>
【事務局】	<p>ありがとうございました。それでは、これより、議事進行は中野会長に お願いしたいと存じます。中野会長、よろしくお願いいたします。</p>
【中野会長】	<p>それでは、次第に従ひまして、「第 5 次和泉市一般廃棄物処理基本計 画(素案)の諮問」から進めてまいりたいと思つます。事務局、よろしく お願いします。</p>
【事務局】	<p>それでは、第 5 次和泉市一般廃棄物処理基本計画(素案)について、 市長から本審議会に諮問いたします。</p>
【市長】	<p>(諮問書を読み上げる。)</p>
【事務局】	<p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
【中野会長】	<p>しっかりと審議してまいります。</p>
【事務局】	<p>市長は、この後、別の公務がございますので、失礼とは存じま すが、ここで退席させていただきます。 会議を進めます前に、傍聴人の入室許可について、中野議長の許可 を頂戴したいと存じます。傍聴人の確認をしてもよろしいか。</p>
【中野会長】	<p>はい。</p>
【事務局】	<p>2 名です。ありがとうございます。</p>
【中野会長】	<p>議題 報告事項(1)令和 2 年度(令和元年度実績)清掃事業概要 について</p>
【事務局】	<p>それでは、議題 報告事項(1)令和 2 年度(令和元年度実績)清 掃事業概要について、事務局より説明をお願いします。 報告事項(1)「令和 2 年度(令和元年度実績)清掃事業概要につ いて」ご説明させていただきます。 生活環境課では、毎年本課が実施した事業の実績を「清掃事業概 要」として</p>

	<p>取りまとめ、冊子として製本するとともに本市ホームページにて公開しております。</p> <p>それでは、令和元年度実績を記載した令和 2 年度清掃事業概要について、一部ご説明させていただきます。</p> <p>4 ページと 5 ページをご覧ください。</p> <p>「ごみ処理事業の事業年表」についてでございます。</p> <p>令和元年度の事業年表といたしましては、令和元年 10 月 10 日に「いずみプラスチックごみゼロ宣言」を発出しました。この宣言の行動指標といたしまして、「ごみの分別・適正処理」、「マイバックの利用」、「使い捨てプラスチック製品の代替製品の利用」を作成し、様々な取組みを実施しております。</p> <p>続きまして、27 ページをご覧ください。</p> <p>「11. 一般廃棄物の搬入に係る協力金」についてでございます。</p> <p>和泉市では、市内民間一般廃棄物処理施設に一般廃棄物を搬入する他の地方公共団体に対し、環境負荷の低減を図ることを目的に、環境保全協力金を納入していただいております。</p> <p>この協力金は1トン当たり 1,000 円いただいております、令和元年度実績といたしましては、搬入自治体数が 24 件あり、12,320,000 円の協力金を納入していただきました。</p> <p>本来であれば、他の清掃事業概要の内容についても、詳細にご説明させていただきたいところですが、この後の審議もございますので、以上で、報告事項(1)「令和 2 年度(令和元年度実績)清掃事業概要について」の説明を終了いたします。</p>
【中野会長】	<p>ただいまの説明に関して、ご質問等はありませんでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
【委員】	<p>はい。</p>
【中野会長】	<p>続きまして、議題の審議事項に移ります。</p> <p>限られた時間ですので、有意義な議論の場となりますよう、審議事項(1)「第 5 次和泉市一般廃棄物処理基本計画の概要について」と(2)その本編の資料番号 1 について、一括して事務局より説明をお願いしたいと思います。</p>
【事務局】	<p>審議事項-(1)「第 5 次和泉市一般廃棄物処理基本計画の概要」及び(2)「第 5 次和泉市一般廃棄物処理基本計画(素案)について」</p> <p>それでは、審議事項(1)「第 5 次和泉市一般廃棄物処理基本計画の概要」及</p>

びその素案本編について簡単にご説明いたします。

お手元にごございますカラーの A3 版の「第 5 次和泉市一般廃棄物処理基本計画概要」でごございますが、こちらは主要なところのみ集約してご説明させていただきます。概要の 1 ページ目をご覧ください。

このたび策定する第 5 次基本計画は、廃棄物処理法に基づいた本市の廃棄物=ごみ行政における施策の基本事項を示すものとなり、「ごみ処理基本計画」と「生活排水基本計画」を統括するものです。

計画期間は、令和 3 年度から令和 17 年度の 15 年間を目標年度として、5 年に一度(計画の)見直しを行います。

次にごみ処理の基本方針は、これまでの「ごみゼロ社会への挑戦」を継承するとともに、ごみ減量化・再資源化を数値化し、PDCA サイクルにより、計画の進捗管理を行なっていくものです。

裏面 2 ページ目をお願いします。

第 2 節ごみ処理事業では、

第 5 次基本計画では、これまで切り目無く実施してきた「生ごみの水切り」「紙ごみの分別」「食品ロスの削減」を 3 本柱にする「ごみダイエット作戦」を主軸とし、継続して地道に市民意識の啓発に取り組んでいこうとするものです。

特にごみ排出抑制の観点から「食品ロスの削減」の取り組みとあらたな取り組みのひとつである、昨年発出した「いずみプラスチックごみゼロ宣言」に主眼を置き、積極的な施策を行なっていくものです。

また、ごみ分別、ごみ減量化及び再生利用の促進と新たなウィルスの出現やゲリラ豪雨など想定外の自然災害が発生した時の災害ごみ排出に係る情報の周知や収集・運搬体制などを定めた「災害廃棄物処理基本計画」を策定してまいります。また、中古品の売り買いといったリユース行動が市民生活に定着し、インターネットなどの SNS を使ったの容易に不用品の販売も行えるようになったことから、市が不用品のリユース事業を行う意義が無くなっていることから、令和 6 年 4 月 1 日からリサイクルプラザ「彩生館」を廃止いたします。

続いて、計画収集人口等ごみ量の将来予測では、本市の人口減少とともにごみ排出量も自然減少すると予測されるものの、大幅な減量は見込めないものとなっており、ますます、市民・事業所・行政の協働による一体的な取り組みが必要と考えられます。

続いて 3 ページ目をご覧ください。ごみ処理の基本目標と基本施策の体系図です。「ごみゼロ社会への挑戦」を主軸に、3 つの基本的な方向性を示し、7 つの基本目標を立て、30 項目の具体的な基本施策を位置づけております。

概要の最後、4 ページ目をお願いします。生活排水編では、フロー図による汚水の処理の流れを示しています。

生活排水処理基本計画では、汚水の適正処理について、公共下水道の整備と普及を進めるとともに水洗化促進を啓発するものとし、平行して浄化槽汚泥及びし尿汲み取りの収集・運搬・処理体制の確保について安定的な運営を維持していくものとします。また、新たなウイルスの出現や予測を超えた自然災害の発生時の収集・運搬体制の確立を盛り込んでいます。

概要の説明は以上です。

続きまして、「第 5 次基本計画の素案 本編」についてですが、事前配布のため、すでにご一読いただいておりますことから、今後特に取り組もうとする主要な事項のみご説明をさせていただきます。

資料番号 1 第 5 次基本計画の本編をお願いいたします。

ここで、申し訳ございませんが、本編に誤記がございましたので、(先ほど机上配布しております)お手元の「第 5 次和泉市一般廃棄物処理基本計画(素案)」の正誤表のとおり訂正いたします。読み替えていただきますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、31 ページ、2.第 4 次基本計画のレビューをご覧ください。前計画の点検・評価を行い、PDCA サイクルにより、計画の進捗管理をするものです。次のページ(表 2-1-21 第 4 次基本計画(平成 28 年 3 月策定)の施策内容、目標達成状況)をご覧ください。表の列、中央の「施策実施の進捗状況」の中段、「ごみダイエツト作戦」推進事業の展開では、市民に身近な問題として意識の啓発を図ろうと、水切りネットやチラシの配布など町会・自治会様との協働により「駅前キャンペーン」を実施しております。また、「日常ごみに含まれる紙類の資源化」の具体的な行動の促進を図るため、「紙分別用紙袋」を全戸配布いたしました。

続いて、次の(33)ページをご覧ください。同じく列中央の「施策実施の進捗状況」2 段目、「いずみプラスチックごみゼロ宣言」発出では、マイバック・マイボトルの持参、使い捨てプラスチック製品の買い替え、使用制限、ごみ分別と適正処理を行動目標にしています。

続いて、36 ページをお願いします。ご覧いただきますとおり、本市が抱えるごみ処理の課題点・留意点は種々多様に渡りございます。

このたびの第 5 次基本計画では、このような課題解消に向け、SDGs 実現に寄与し、循環型社会の形成を念頭に、本市がめざす「ごみゼロ社会の実現」のため、「食品ロスの削減」と「プラスチックごみゼロ」に挑戦していこうとするものです。

以上で簡単ではございましたが、概要及び素案の説明を終わらせていただきます。

<p>【中野会長】</p>	<p>ただいま、事務局から、基本計画の概要と本編の主要事項について、説明がありました。</p> <p>和泉市は「ごみゼロ社会の実現」を念頭に、これまでもさまざまな事業を展開してきたと思いますが、人々の家庭や事業所から排出されるごみへの関心はまだまだ低く感じられます。ご説明の中でも強調されましたように今後、「プラスチックごみ削減」と「食品ロス対策」一生懸命やって行きたいということなんです。皆様の生活の中でも、レジ袋の有料化がすごく象徴的なことだったわけですけど、皆様本当にお忙しい中ご出席いただいていますし、是非一言ずつ「食品ロス」・「プラスチックごみゼロ」に係ることで、何かご意見等いただきたいのですが。</p>
<p>【浜田委員】</p>	<p>私は、個人的に食品ロスの方はずっと取り組んでおりまして、子ども食堂をしているのですが、場所がお寺で。そのお寺にフードドライブ（賞味期限間近のものなど）でいろんなものが、いろんな企業から来ます。企業側からいえば、捨てるにもお金がかかる。でも頂いたら喜んでくれる子どもたちがたくさんいるということで、これを子どもたちだけではなくて、出来れば海外から来ている桃山学院大学の留学生の子達とか、アルバイトがなくて生活が苦しい子達にフードドライブのシステムを広げていけたらなと思っています。</p>
<p>【坂本委員】</p>	<p>プラスチックごみを本当に減らすという部分になりましては、市民の皆様がどれだけ認識を高めていけるかということが啓発活動どういう風に周知されるかということが一番問題になるかと思っています。そのためには、行政に出来ること、そして民間が出来ること、そしてやはり自治会などに出来ること。今、縦割りのようになっているかと思しますので、情報共有の中で共有できることをもっと増やせば少しは効果があるのかなと思います。</p>
<p>【吉弘委員】</p>	<p>私は、専門は経済政策ですので、経済政策が必ずしもメインではないんですけど。和泉市で生活して6年ほど経ちますので、いくつかの点で、先ほどフードドライブの取組をしているということ始めて知りまして、既にそういうことをされているんだなど。フードバンクのような取組は日本は農水省のほうで推薦しているようです。が、廃棄物の政策自体は別の省庁がなされている。行政分野のオーダータ的な政策をつくる必要があって、和泉市では啓発活動をされるということなんで、具体的にフードバンクのような取組をどこまでどういう狙いでやるのか。たとえば、貧困世帯対策としてやられているケースが非常に他の国でも多いのですが、日本の場合だとむしろ食品ロスの政策としてやったほうがもしかすると効果的な可能性も十分に思いますので、その点を今後</p>

	<p>取り組んでいくのが1つの提案かと。もう1つプラスチックごみについては、これは後ほど燃やしておられる事業所の方とかもご関係あると思うのですが。炉の燃焼温度の関係があるのでどこまで減らしていくかって、結構難しい技術的な問題も絡んでくると思います。ベストミックス線に近いものを模索していくことが今後求められるものと思います。</p>
<p>【澤村委員】</p>	<p>食品ロスでいうとメーカーと個人、半々くらいになると思うんですけど。個人でいくとですね、買い物行ってこいといわれます。よく手前からとりなさい、古いのが手前で、新しいのが奥にあるから。ところが、古いのを買ってくると嫁さんに怒られる。そういう問題がある。値段下がると買うけど、それまで、5時までずっと待つ人もいる。5時になったらちょっと割引あるから。古いのでも買うのでしたら、ちょっとでも安いもの。今日食べるのでしたら、それを買う。そういうのもあるので、やっぱり金銭的に値段を下げるとか、そういういろんなことをしてもらって皆さんも安く買えていいかなと思います。私らも買うのでしたら気持ち的には新しいのを買いたい。食パンを朝に食べるんですけど、いつも買うのは5枚切りです。5日間賞味期限がもつものはほとんどないです。もう少し小さい単位で売ってくるとそういうことが無くなるのではないかなと思います。個人にいうだけではなく、売り方の問題もあるかなと思います。</p>
<p>【大塚委員】</p>	<p>老人クラブの中でも女性部の部長をさせていただいております。マイバックなどは皆さんも十分になされていると思います。ただ、生ごみを出す時に水切りをしましょうということで。会議の中でもいつも話をしている。色々ありますが、生ごみの水切りを一に考えております。</p>
<p>【上田委員】</p>	<p>食品トレイはいろんな種類があったり、シールがベタベタと付いていて、そのシールをはがして分別するっていうのは、やはり手間だということをよく主婦の方々からの声が出ていて、伝えてほしいみたいなことをよく聞きます。あと、分別などは、学校や子どもたちがすごく勉強していると思うのですが、そのためにも、もう少し分かりやすい分別っていうかたちの方が、いいのではないかと考えているところです。</p>
<p>【越知委員】</p>	<p>生ごみを出さないようにするのであれば、例えば無農薬の野菜とかきれいな野菜をなるべく買うようにすれば、捨てるものを無くすとか、簡単でちょっとだけいいことをするっていう方向でいった方が、入りやすいんじゃないかと思っています。</p>

<p>【岡澤委員】</p>	<p>食品ロスについては、不要なものをついで買いをしない。冷蔵庫の中身を確認してから献立を考える。生協に加入しておりまして、予約登録という形で利用していることによって無駄なものを買うことがないかなと思っております。それから、料理的にはリメイク料理として煮物やスープを作ったときには、一回で汁を捨ててしまうのではなくて、二回目にそれをまた利用した料理で、ほとんど汁物を捨てないようにしています。全体的に言えるのは、つい 2,3 日前だと思うんですけども、佰食屋というお店をテレビで見たんですけども、一日 100 食限定で、100 食になると閉店するというやり方で、全然ロスがないという話を聞いて、メニューも3つだけで、たくさん儲けようとたくさん種類を用意すると注文するかもしれないと思って買ったものが、注文がなければ捨てられる、というテレビがあったので、社会的にはこういうことを皆さんがどこのお店も考えてもらったらロスが減るのではないかなと。うなぎを食べるとき、皆さんお店にどこも並んでいると思いますが、あれも予約制とかそれだけで売っていれば捨てなくていいと思うのですが、次の日には結局捨てられているのではないかな。非常に無駄だなと思うので、皆が予約して買うとか、無駄なものをつくらなくて済むような社会状況をつくってもらったらいいかなと思います。</p> <p>それから、海洋プラスチック削減については、プラスチック容器ではなく、リユースできる容器を使っていく。ペットボトルとか調味料とか持っていないので、ほとんどそういうのは使っていません。それから、買い物袋有料化の前から布の買い物袋を使用してきました。今までは、ごみ袋の中にスーパーの袋を使って入れてましたが、最近それが有料化になったので、ごみ袋の中に新聞紙を折って入れたり、水切りをするときには、チラシを折って使っています。生ごみを水切りした後でも、また水分が出ますので、これを使って、特に料理講習会などをしたときもこれを皆さんにプレゼントしています。こうやってごみ袋にしたものを使っています。以上です。</p>
<p>【上阪委員】</p>	<p>今、自分の家のごみ出しを全て自分が火・金など全部やっています。その際に、プラスチックは 4 分別づつ分けてごみ出しているんです。それを見ていたらパッカー車にバーンって入れるわけです。この後、どう分けてくれているか、こっちはきちんと分けているのにどうなっているのかとか。それから、缶・ビンするときでも、缶・ビン、電池に分けて出しているのに、缶・ビンなんかはそのままパッカー車に放り込んでいるわけです。どう分けているのかなと思っています。ごみの焼却場に一度行って見たいなと思っているぐらいです。74 歳になったんですけど、初めて孫が去年できまして、一日いたらごみ袋が、家族だけなら 10 リットルで十分なのに、孫が一日いるとランク 1 つ上になったり、2 つ上になったりするんですよ。それだけ、オムツのごみの量がものすごい自分</p>

	<p>自身で心配になりました。自分らの団塊の世代が、80～90 歳になったら、たぶん自分らもオムツをつけるだろうと。このときに今のオムツの再生可能とラジオでは聞いたことがあるんですけど、ちょっとその点、考えてほしいなと思います。</p>
<p>【飯坂委員】</p>	<p>泉北環境の飯坂です。今、集めるときに、缶・ビン等々を一緒にパッカー車にという話がありましたけども、今、資源化センターというのができまして、その中で全て分別できるものは分別して再資源化に取り組んでいるところがございます。プラスチックごみってという話がございましたけど、組合としてはできるだけ分別していただいて、分別していただいたプラスチックを次の再資源へという形で運営しています。よろしくお願いいたします。</p>
<p>【岡室委員】</p>	<p>以前にも審議会に参加させていただいて、そのときに中野先生のごみのリサイクルがあると話されていて、すごく感動したんです。普段、軽くしているようなことですけど、実際それをやってみると自分も十分にわかってやってみたんですけど半分さえ駄目ですね。今、大塚さんもおっしゃっていたように、主婦のレベルとか台所をされる男性の方にも参加していただいて、そういうのをすることで、ごみの重量を制限できる。水系のものを燃やすのはすごくエネルギーを使うらしいので、そこにまず効果があるかと思います。それと、乾燥させる容器とか肥料に使うようにするものとか、いろいろ市の方にも対策されているみたいなので、そういうのがもっと普及されるといいかなと思います。</p>
<p>【日原委員】</p>	<p>我々は収集業務をしている組合でございます。廃プラ、プラスチックごみなどをゼロにするということは、難しい問題だと思います。生産者と消費者と泉北環境の方もおっしゃっていましたが処理側の、この三つがうまくバランスをとりながらやっていかないと、なかなか前に進まないと思いますので、この審議会ですら色々な話が出てやっていけたらと思います。収集別みたいな話になりましたけども、よろしくお願いいたします。</p>
<p>【村井委員】</p>	<p>ごみ袋が有料化なりまして、取扱をしています。以前 30 リットルがなくて、30 リットルを新しく作っていただいた。この 30 リットルはものすごく好評でして、どんどん出ていっている。ただ、45 リットルが一番多く出ていっているのとは聞かれましたけども、これは、まとめて出しているのか、どうか分からないんですけども。私のところは、二人ですけども、30 リットルが重宝してますので、30 リットルを一番主によく使います。有料化になってごみも少なくなってきていると思いますが、先ほどからの生ごみですか、生ごみのことを話していましたけれど</p>

<p>【辻林委員】</p>	<p>も、網(水切りネット)とかの安く、もしくは無料でもいいんですが、市から配布とかの予定はないでしょうか。大変助かると思います。水を切ると重量もだいぶ減るので。そういうのが、気になりましたので、よろしくお願いします。</p> <p>JA は和泉市だけではなく4市1町が管内になっておりまして、農産物の直売所などの運営をしています。そういった中で、そのごみとか環境のことにしましては、プラスチックのビニール袋は廃止しており、エコバッグでポイントがつく。和泉市さんではないですけど、岸和田市さんの方で生産農家の方々には捨てない野菜はコンポストの方に入れていただいている状況でやっています。協同経営をやっているんですけどもSDGsに関係するそういった事業が多方面にありますので、ひとつひとつその事業を行うにあたって、このことは、今回のSDGsのどの部分にあたるか、そういったことをひとつひとつ確認しながら組合の事業を進めていく、そういったところになります。JAの方では、ホームページ、インスタグラム、SNSなどの啓発、いろいろ事業の広報活動をしています。より効果的な広報活動が何かしらないか日々模索しています。和泉市さんについては、今後市民さんへの広報啓発をして、より効果をあげていくのが難しいですけども、大事なところだなと思っています。</p>
<p>【橋本副会長】</p>	<p>先ほど浜田委員がおっしゃられていた食品ロスについてですが、フードバンクがあるということなんですが、当商工会議所の会員でもたくさん食品を取り扱っている企業さんがございます。たとえば、そういう所へのフードバンクの存在を周知する活動を、商工会議所としてもできるものとして、ご協力いただこう思っております。</p> <p>個人的に思っていますのは、生ごみ処理機等の購入については市の方で補助金が出ているということなので、そういうものを利用することによって、少しでもごみを出すことが軽減できるのではないかと考えており、これらのことももっと周知していくべきと思っています。</p>
<p>【中野会長】</p>	<p>先ほど生ごみ処理機のお話が出ましたが、数年前には生ごみを入れる袋に穴を開けて全体重をかけて水分を絞りたいと話をしたことがあったのですが、当時は生ごみの水を絞るという事が思いもしなかった、という意見をいただき、そうなのかと思った時もありました。しかし今ではそういう事も徐々に普及していったよかったですと思っています。</p> <p>皆様からいろいろな貴重なご意見をいただきまして、只今頂きましたご意見は、できそうでできないこと、とかですね。新しい対策についてご提案いただいたと思うんですけども、「子ども食堂」、フードドライブ、お寺でやってらっしゃる</p>

	<p>とかですね。そして、市民への啓発ですね。縦割りになりがちなので、全体もっと普及するように方法を工夫した方がいいんじゃないか。それから、プラスチックの問題は、ごみの中のプラスチックが減ると熱量が下がってしまって、ごみが燃えにくくなるという問題があるけれども、もちろん分別して定期的に資源化した方がいいんだというお話をいただきました。日常生活の買い物の場面では、「手前取り」というなるべく賞味期限の近いものから買って、使いましょう、ということが言われています。分別したくっても、食品トレイにシールだとかが貼ってあるために、なかなか分別がしにくいという話もありますし、そもそも捨てるものが少なくなるような売り方をしてほしいとかですね。消費者のみではなく、メーカーとかお店側に考えてほしいということを提案いただきました。消費者としては、ついで買いをしないと無駄なものは買わないとかですね。予約販売にできるだけ協力をするとかも必要だというお話もいただきました。先ほど持ってきていただきました、新聞紙で作った箱ですね。あれは、災害ごみ対策としてもすごく役に立つようですので、ごみだけでなく災害用の対策としても覚えといたらいい。パッカー車へのビンや缶の混載の問題とか、SDGsも抽象的な目標で、やっていることがどこに貢献しているのかわからない。全国でいわれている問題ですので。効果的な広報の方法とか、自分がやっていることがどう貢献しているかということがわかりやすくすることが非常に大切なことですね。副会長から補助金の利用で生ごみを減らすとか、フードバンクを普及する方法を考えてはいかかかというご意見をいただきました。短時間で、ホントにたくさんの意見をいただきました。ありがとうございます。いただいたご意見を参考により良いものにしていきたいと思えます。</p> <p>つづきまして、審議事項(3)今後のスケジュールについて、こちら(4)パブリックコメント公募実施についてを一括して事務局より説明をお願いします。</p>
【事務局】	<p>計画策定までの今後のスケジュールでございますが、本日の審議会のご意見等を踏まえまして、修正等を加えたのち、議長のご承認をいただき、令和3年1月6日(水)～令和3年2月1日(月)までの概ね1か月間、市民にパブリックコメントの公募をいたします。市民からいただきましたパブリックコメントは、集約のうえ、次回の令和3年2月18日(木)第2回審議会にてご報告いたします。第2回審議会では、計画案の最終ご審議をいただき、答申(案)を策定してまいります。委員の皆様には、2月下旬に答申(案)をご送付する予定でございます。委員の皆様のご意見等の集約は中野会長にご一任いただき、令和3年3月初旬に、辻市長に答申していただく予定でございます。3月末には委員の皆様にご配布する予定でございます。</p> <p>続きまして、(4)のパブリックコメント公募の実施については、市ホームページ</p>

	<p>ジ、広報いずみ 1 月号で市民周知を図り、生活環境課、市役所市政情報コーナー、図書館各所にて本日ご審議いただきました計画書(素案)の修正版を設置いたします。よろしく願いいたします。</p>
【中野会長】	<p>ただいまの今後のスケジュールおよびパブリックコメント公募について、何かご意見ご質問はございませんか。</p>
【委員】	<p>ありません。</p>
【中野会長】	<p>それでは最後に、全体を通して何かご意見ご質問はございませんか。</p>
【委員】	<p>ありません。</p>
【中野会長】	<p>本日は貴重なご意見ありがとうございました。コロナの影響もあって、長時間での審議会開催や何度も集会をするのもリスクが高まるという懸念もありますので、本日辻市長から当審議会に諮問をいただいた基本計画(素案)につきましては、本日の審議会終了後、各委員の皆様から、いただきましたご意見を反映した形で、修正版を事務局に作成いただき、再度私の方にご提出いただいて、パブリックコメントを実施していただく、そして、次回の第 2 回審議会でも、皆様にご報告させていただくということで、私にご一任いただけないでしょうか。</p>
【委員】	<p>～拍手～</p>
【中野会長】	<p>ありがとうございます。それでは、以上で、本日の次第は終了となりますが、他に事務局から、連絡事項等がありますか。</p>
【事務局】	<p> 今回の和泉市ごみ減量等推進審議会は令和 3 年 2 月 18 日の午後 2 時より、和泉市人権文化センター1階大会議室になります。 お忙しいところ恐縮でございますが、ご出席賜りますようよろしくお願い申し上げます。また、先ほどスケジュール説明の際にご説明したとおり、新型コロナウイルス感染拡大のため、開催が困難と判断されました時は、遅くとも 1 週間前には、文面又は、お電話等でご連絡いたします。委員の皆様には、大変なご負担をおかけいたしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。 なお、本日の会議録につきましては、案を作成し、会長、副会長にご確認いただいた上で、委員の皆様にご送付したいと存じます。その際、市ホームページ </p>

<p>【中野会長】</p>	<p>ジ、市政情報コーナーで会議録を公開いたします。</p> <p>それでは、これにて、第 1 回和泉市ごみ減量等推進審議会を終了いたします。長時間に渡り誠にありがとうございました。</p>
---------------	---